

盛岡市子ども科学館プラネタリウム学習投映

実施要項（中学校）2026

1 趣旨

中学校学習指導要領に基づいた学習ができるよう、プラネタリウムの機能を用いた学習を提供する。

2 投映内容

学習指導要領に準拠した天体の運動を、プラネタリウムの空間を活用して指導します。

<A～Fより3つをお選びください>

- A. 地球の自転・公転
- B. 公転と季節変化（太陽高度）
- C. 四季の星座
- D. 公転と季節の星座
- E. 金星の満ち欠け
- F. 宇宙の広がり

<共通パート>

今夜の星空案内

3 投映期間及び時間帯

投映期間： 2026年4月～2027年3月

投映時間帯： ① 9:30～ ② 10:30～ ③ 13:30～ ④ 14:30～ 各回約45分

※上記の時間帯は、団体専用枠です。

土日祝日および夏休み・冬休み期間は①のみ。5/3～5/5は予約不可。

4 料金

	個人	団体 (20人以上)	盛岡市内中学校
大人	450円	360円	無料
高校生	300円	240円	ただし、教育課程として使用する場合に限ります。
子ども	150円	120円	当日、受付に使用料減免申請書をご提出ください。

※展示室は別途入場料が必要です

5 問い合わせ及び申し込み

問い合わせ先：盛岡市子ども科学館 電話 019-634-1171

申し込み方法：お電話でご予約ください。先着順に受付となりますので、お早めにお申し込みください。

※当館のプラネタリウムの座席数は160席です。予約状況はお問い合わせください。団体専用枠ですが、当日座席に空きがある場合は、一般の方の観覧も受け付けます。

6 その他

子ども科学館では、プラネタリウム室・展示室のご利用のほかに、団体向け実験工作教室もご利用いただけます（事前予約が必要ですので、ご希望の場合は併せてご予約ください）。

休館日は、子ども科学館のWebより「開館日カレンダー」をご参照ください。

7 展開例①<A・B・Fを選択> 天文分野の学習の中で触れやすい単元を、プラネタリウムのドーム空間を使って視覚的に捉えます。1~2年生にお勧めです。

投映の流れ	投映及び学習の内容
A. 地球の自転・公転	地球の運動を宇宙から俯瞰して見ます。 ・地球を俯瞰して見て、動いているのは恒星ではなく地球であることを確認します。⇒地球の自転と日周運動とを結びつけます。 地球の公転に関する知識・理解を確認した上で、「地球は自転しながら公転している」ことを視覚的に捉えさせます。
B. 公転と季節変化 (太陽高度)	夏至・冬至の太陽1日の動きの観察、地球の公転で起こる変化を確認します。 ・二至二分の南中時の「南中高度」を計測します。 ・南中高度が違うのは、地球の公転面に対して「地軸」が傾いていることを実感させます。
F. 宇宙の広がり	地球から深宇宙への視点移動を行いながら、以下の天体に関する紹介をします。 ・惑星、太陽系の天体、恒星、天の川、銀河系、銀河団、大規模構造
共通パート. 今夜の星空紹介	当日の星や星座を紹介いたします。

展開例②<C・D・Eを選択> 学校の一斉授業では難しい天体の観察を、地上視点からだけではなく宇宙視点での天体の配置とリンクさせることで、科学的な探求を体験させます。
履修後の復習、3年生にお勧めです。

投映の流れ	投映及び学習の内容
C. 四季の星座	春夏秋冬の代表的な星座を地上から見ていきます。 ⇒同じ時刻(20時)で見える星座の位置が変化することを観察します。
D. 公転と季節の星座	星空の変化が、地球の公転運動によって起こることを視覚的に捉えます。 ・1ヶ月ごとのしし座の星の並びを確認します。(地球からの視点) ・地球の公転運動と星座の移り変わりを確認します。(宇宙からの視点) ・地球が夜のとき見えるのが季節の星座であり、昼の時に太陽の方向にある星座は見えないことを確認します。
E. 金星の満ち欠け	・月の満ち欠けを復習します。宇宙空間での太陽・地球・月の位置関係を確認しながら、地球視点での月の満ち欠けの様子を観察します。 ・太陽・内惑星(金星)と地球の位置関係から、地上から見える金星がどのように満ち欠けをするのか考えます。 ・宇宙空間での太陽・金星・地球の位置関係を確認しながら、地球視点での金星の満ち欠けの様子を観察し、形が変わって見えることを確認します。
共通パート. 今夜の星空紹介	当日の星や星座を紹介いたします。

※以上は、展開案です。変更する場合もあります。

※その他、ご要望があれば天文担当までご相談ください。